

2019年7月23日

各位

株式会社 北海道銀行

農業法人への出資および経営支援について

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）は、農業法人「合同会社OMEGAファーマーズ」（以下、同社）への出資および代表社員派遣を行い、経営を支援することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 出資先の概要

会社名： 合同会社OMEGAファーマーズ

所在地： 士別市武徳町44線東7号

代表社員： 中島 英利（北海道銀行職員）

事業内容： 農産物の生産・加工・販売

主な事業： 亜麻・えごま・菜種などの生産（作業委託）、搾油・販売など

生産規模： 亜麻、えごま、菜種など 合計約250ha

出資金： 31,950千円（当行出資額1,500千円）

設立： 2019年5月31日（7月18日当行出資）

構成員： 三好農場、大西農場、株式会社オレンジファーム、木村農場、株式会社アグリプロダクト外笠井、有限会社中藪農園、西島農場、株式会社牧野農園 他道内企業

2. 出資等の目的

北海道農業において担い手不足は深刻な問題であり、今後耕作放棄地の増加も懸念されるなど、課題は山積しています。その課題解決に向け、マネジメントおよび経営資源の集中による「農業経営の企業化」に取り組むことで、北海道農業の発展に貢献することを目的とします。

同社は、道内各地域を代表する農業者同士のネットワークを通じて、ベテランと若手農業者の技術的融合を図るとともに、搾油作物の生産・加工による高付加価値ビジネスを目指します。

3. 搾油事業

健康維持のための不可欠要素の一つである脂質の源は油脂です。中でも植物油の脂肪酸（オメガ3、オメガ9）は体に大事な役割を果たします。搾油作物である「亜麻・えごま・菜種」を構成員メンバーが栽培し、自ら搾油することで付加価値をつけます。同社は、農業生産者とともに6次産業化に取り組み、持続可能な農業を目指します。

4. その他

生産者メンバーの1名が廃校となった士別市立武徳小学校の周辺で農業を営んでおり、地域活性化のために市と交渉を重ね、施設利用の承認を得ることができました。同社は、今般その体育館内に搾油施設を設置し、搾油事業に取り組みます。

当行は士別市と「地域創生に関する包括連携協定」を締結しており、本事業に積極的に支援することとなったものです。

ほくほくフィナンシャルグループは、本年4月1日に「SDGs宣言」を表明し、CSR活動における取り組みの重点テーマの一つとして「持続可能な地域社会の実現」を掲げております。本事業への支援を通じて持続可能な地域経済の成長へ貢献してまいります。

以 上

【本件に関する照会先】

北海道銀行	コンサルティング営業部	中島	TEL 011-233-1379
	広報CSR室	小山	TEL 011-233-1005